

変ご迷惑をおかけした時期もありました。また、除雪する度に幅員が狭くなるため、除雪効率が低下する事態となりました。

一方、大型機械の除雪路線で家屋が連担する区間においては、除雪した雪を宅地の間口付近に置かないようにとの要望が多くありましたが、効率的な除雪作業をするためには、そのような要望には、なかなか応えられないというのが実態です。

町民の要望に応えていくためには、これまでのように道路管理者だけが雪対策を行うのではなく、町民や地区の方からもご協力をいただく「共助」の体制を検討する必要があります。今年、一部の地区では、町の除雪機械が進入できないために、沿線の方々が所有する機械で除雪をしていただいたこともありました。今冬の状態を十分に踏まえ、多くの課題はあるものの、町民の安全安心に配慮するため、今後の除雪の在り方について改めて検討したいと考えています。

② スポーツとフルーツのまちを守り育てよう

特に果樹の多い山間地は、150cmから180cmぐらいの積雪に達し、果樹園は、雪に埋も

れ、雪が解け、圃地に行けるようになれば、果樹の枝折れをはじめ、施設の被害は甚大になるのは、火を見るより明らかである。

中山町はフルーツの町であり、とかく農村は、暗い、元気がないとと言われる。おいしいフルーツを活用し観光に利用しよう、付加価値を付けた加工品を作り、中山町から全国に発信し、町を元気にし、若い後継者を育成しよう、と頑張っている人たちもいる。中山町のフルーツを守るためにも、あらゆる手段を考え、知恵を出し合い、町は行動を起こすべきである。

また、スポーツの町なかやまとすばらしいキャッチフレーズである。本町には、山形県野球場があるにもかかわらず、プロ野球1軍の試合を1試合も誘致できないありさまである。町には県野球場ばかりでなく、町民グラウンドやグラウンドゴルフ場などの施設があるが、大雪のためにいつになったら使用できるのか見当もつかない状況である。例年通りに使用できるように、消雪剤を撒くなどの対処をし、一日も早く雪を消し、中山町に素晴らしい球がくるようにしてはいかかがか。

昨年が続く大雪に見舞われ、果樹の枝折れやビニールハウ

スの倒壊などの被害が発生しており、果樹については、すももやラ・フランス、りんごでの枝折れが目立ち、さらに、今後融雪が進む過程で、枝の引き裂きなどが懸念されます。

このため、町では、農作物等被害の拡大と春作業の遅延による農作業の影響の未然防止を図るために、融雪剤の共同購入に係る経費の一部助成を、県の事業対応を待たずに、町単独で実施します。また、雪解けと合わせ、被害発生状況の全容が明らかになってきますので、今後の支援対策については、新年度事業として検討していきます。

豪雪による町のスポーツ施設への影響も例外ではなく、建物の雪下ろしや、排雪などを行い、雪害の防止に努めてきました。現在も、町民グラウンドには約60cm、グラウンドゴルフ場には約50cmの雪が残っていますが、このような建物以外の施設については、手が回らないのが現状です。このような中において、各施設を利用して町内のスポーツ団体の方々から、除雪作業の申し出があったことは、大変嬉しく思っております。町としても、各協力団体と力を合わせ、一日も早く各スポーツ施設が利用できるよう進めていきます。

議会行政視察報告

総務文教常任委員会

2月8日から9日の2日間、議会総務文教常任委員会の行政視察が行われ、宮城県柴田町「柴田町図書館」と宮城県加美町「中新田図書館」の2つの図書館を視察しました。その視察研修の内容について報告します。

(文：総務文教常任委員会 副委員長 渡辺博文)

私たちは2月8日に宮城県柴田町の「柴田町図書館」、2月9日に宮城県加美町の「中新田図書館」の視察研修を行いました。中山町では3日から降り続いた豪雪の中、雪片付けもままならないまま、後ろ髪をひかれる思いで出発しましたが、柴田町は全く雪が無く突然春が来たかのごとく、お日様がさんさんと降り注いでいました。

今回の目的は4月30日に開館予定の中山町立図書館の運営に係る「図書館事業について」であり、具体的には次項について視察いたしました。

① 設置目的（特に工夫している

点) ② 開館年月日 ③ 職員数 ④ 建物の面積 ⑤ 蔵書数(一般用・児童用) ⑥ 年間利用者数(出来れば大人・子ども別) ⑦ 年間貸し出し数 ⑧ 図書館の運営についての運営方法、年間維持管理費、問題点等 ⑨ 来館者について工夫している点

2 その他 宮城県柴田町 柴田町は、宮城県を県都仙台で二分した仙南のほぼ中央に位置し、仙台市から25km、仙台空港や東北自動車道村田JCTから十数kmの位置にあります。地理的には内陸部ですが、気候は比較的温暖であり宮城県内でも雪の少ない地域です。人口は38,264人(平成23年3月末現在)です。

● 柴田町図書館

図書館法の理念及び柴田町教育振興基本計画、柴田町図書館運営基本方針に基づき、「未来の柴田を構築する情報拠点となる図書館」を基本理念とし、住民の生活文化・教養の向上に努める図書館運営を行うことを目的としています。開館は平成22年5月29日で、館長以下7名(職員4名、非常勤3名)の体制で、しば



柴田町図書館

冊以内(2週間)、団体利用が1回100冊以内(4週間)、インターネット閲覧サービスでは4台の端末が設置され、利用の目安は30分以内ですが、次の利用者がいなければ延長可とのこと。年間維持管理費については、40,533,000円掛かっているとのこと。集客にあたっては「お話し会」「体験学習会」「図書館まつり」の開催や、図書館便り「みんなの図書館」・子ども本の案内「さくらんぼ」をおのおの月一回の

た郷土館「ふるさと文化伝承館」延床面積1,103.46㎡のうち図書館占有面積は331.54㎡です。蔵書数は一般書13,095冊・児童書4,932冊で合計18,027冊、その内55%にあたる図書が寄贈書であるとの事で、22年度の利用者数は一般8,210人・児童3,897人・合計12,107人、のべ貸出数は一般37,232冊・児童23,689冊・合計60,921冊という内容でした。毎週月曜日と月末が休館で、貸出は個人利用が1回10冊以内(2週間)、団体利用が1回100冊以内(4週間)、インターネット閲覧サービスでは4台の端末が設置され、利用の目安は30分以内ですが、次の利用者がいなければ延長可とのこと。年間維持管理費については、40,533,000円掛かっているとのこと。集客にあたっては「お話し会」「体験学習会」「図書館まつり」の開催や、図書館便り「みんなの図書館」・子ども本の案内「さくらんぼ」をおのおの月一回の

宮城県加美町

加美町は宮城県の北西部に位置し、西部は奥羽山脈を隔てて山形県尾花沢市に、南部は宮城県色麻町に、北部から東部にかけて宮城県大崎市に接しています。加美町の気候は寒暖の差が大きい内陸型気候に属し、西部の山岳・丘陵地域は降雪量も多く豪雪地帯に指定されています。人口は25,979人(平成24年1月末現在)です。

● 中新田図書館

本を読むだけでなく、見る・聴く・創る・憩う、そして町民の交流する場としても利用できる多目的な施設(視聴覚コーナー・創作室・喫茶コーナー)。180インチ大型スクリー

広告

● さよなら・おしん生家写真展 期間 3月21日(水)~5月6日(日) 場所 ゆ・ら・らロビー 貴重な写真が多数!ぜひ一度ご覧下さい。

● 4月26日の風呂の日は! 大広間イベント午後1時~ ・山形大正琴愛好会による『演奏』 ・藤み会 による『舞踊』

● お花見セール! 4月21日(土)・22日(日) さくら餅・おだんご・新鮮野菜 花苗等多数ご準備します 023-674-0575

ひまわり温泉 株式会社 中山町振興公社 023-662-5780

